

令和4年10月11日

お知らせ

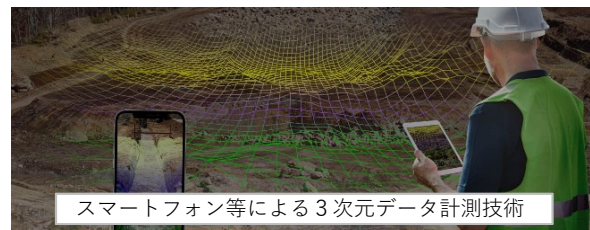
資料提供先：鳥取県政記者会 鳥取市政記者クラブ
倉吉記者クラブ 米子市政記者クラブ

ICT活用工事の普及を目指して ～ICT小規模土工の施工技術講習会を開催します～

国土交通省では、建設現場の生産性向上に向け、鳥取県i-Construction推進連絡会を設置し、ICT活用技術の情報共有と普及に向けた取り組みを進めているところです。

今回は小規模な現場に対応したICT小規模土工の施工技術の講習会とBIM/CIM技術を活用した構造物施工現場の見学会を開催します。

- 日 時：令和4年10月18日（火）10：00～15：30
 - 場 所：〔午前〕倉吉未来中心 セミナールーム3A（倉吉市駄経寺212-5）
〔午後〕山陰道北条道路工事現場内（東伯郡北栄町田井）
 - 内 容：別紙のとおり
 - 主 催：鳥取県i-Construction推進連絡会
 - 参加者：地元企業、自治体職員等 約40名
- ※小雨決行（荒天が予測される場合は事前に中止をお知らせします）
※工事現場内はヘルメットの着用をお願いします。（報道機関用の貸出しあり）
※新型コロナウイルス感染症対策について、以下の点についてご協力をお願いします。
- ・来場の際はマスク着用を徹底してください。
 - ・当日、体調不良(37度以上の発熱、咳等の風邪の症状)の方は取材をご遠慮ください。



問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所
副所長 まつおか ひろひさ 松岡 弘久
【担当】工務第二課長 みよし たけお 三好 健夫
TEL 0857-22-8435（代表）

※本資料は、鳥取河川国道事務所ホームページの「記者発表」ページでも公開しています。

鳥取河川国道事務所HPアドレス <https://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/>

※道路の異状を発見したら・・・道路緊急ダイヤル 緊急通報#9910

午前の部（座学）／倉吉未来中心 セミナールーム3A

10:00～開 会

- ICT活用工事の推進について / 中国地方整備局 企画部
- ICT活用工事導入のメリットについて / 中国ICTサポート選任企業
美保テクノス(株)
- ICT小規模土工について / 日本建設機械施工協会 中国支部
- 質疑応答

～12:00

午後の部（現場）／山陰道北条道路工事現場（東伯郡北栄町田井）



13:30～

- BIM/CIMを活用したボックスカルバート施工現場見学
- ICT小規模土工 現場体験講習
ICT小規模土工対応建機（バックホウ） 2機種
スマートフォン等による3次元計測ツール 2機種

15:30 解散

〔参 考〕 用語の解説

【i-Construction(アイ・コンストラクション)】

国土交通省では、「ICTの全面的な活用」等の施策を建設現場に導入することによって、建設生産システム全体の生産性向上を図り、もって魅力ある建設現場を目指す取組であるi-Construction(アイ・コンストラクション)を進めている。

【鳥取県i-Construction推進連絡会】

i-Constructionを推進するためには、国、県、市町村、建設業界等の一体的な取り組みが必要であることから、中国地方の各県毎に関係機関がICT活用技術の取り組みの情報共有を進め、ICT活用技術の普及に向けた課題について検討するために平成29年度に設置され、連絡会議や現場見学会等の取り組みを実施中。事務局は鳥取河川国道事務所と鳥取県県土整備部。

【ICT】

「ICT」とは、「Information and Communication Technology(情報通信技術)」の略

【ICT施工】

「ICT施工」とは、「Information and Communication Technology(情報通信技術)」を略した「ICT」と「土木施工」を組み合わせた用語で、一般的に「ICT施工」は、建設現場にICTを導入することを意味する用語として使われる。

「ICT施工」に似た用語として「ICT土工」「情報化施工」「ICT活用工事」があり、ICT施工はこれらを含む言葉。

【BIM/CIM(ビム・シム)】

Building/Construction Information Modelingの略で計画・調査・設計段階、その後の施工・維持管理において、3次元モデルを導入し、一連の建設生産システムにおける受発注者双方の業務効率化・高度化を図る取り組みの総称。

【DX】

DX(デジタルトランスフォーメーション)とは、Digital Transformationの略語。

Transformationは「変容」という意味なので、DXを直訳すると「デジタルによる変容」となる。

デジタル技術を用いることで、生活やビジネスが変容していくことをDXと言う。

【インフラDX】

社会経済状況の激しい変化に対応し、インフラ分野においてもデータとデジタル技術を活用して、国民のニーズを基に社会資本や公共サービスを変革すると共に、業務そのものや、組織、プロセス、建設業や国土交通省の文化・風土や働き方を変革し、インフラへの国民理解を促進すると共に、安全・安心で豊かな生活を実現することを目的としている。